

2014年カンボジア中間年経済調査 確報結果公表

2月25日、2014年カンボジア中間年経済調査の確報がカンボジア計画省統計局によって発表されました。本調査は2014年3月1日を期日として実施されたものです。

同調査の結果は、中央および地方政府の様々な政策や計画の策定や、大学や研究機関の学術研究、民間セクターの経営戦略や市場調査等に活用されていくこととなります。

日本政府および国際協力機構（JICA）は、2005年に開始された技術協力プロジェクト「カンボジア政府統計能力向上プロジェクト」を通じ、これまで、2008年人口センサス、2009年全国事業所リスティング、2011年経済センサス、2013年中間年人口調査などに対する支援を行っており、今回の調査においても同プロジェクト（フェーズ3）による支援が継続的に行われています。

1. カンボジア全国の実業所数は513,759事業所

カンボジア全国の実業所数は513,759事業所で、1,000人当たりの実業所数は33.8事業所であった。これを諸外国と比較すると、日本が580万事業所（同45.4事業所）、ベトナムが520万事業所（同58.2事業所）、ラオスが20万9千事業所（同37.4事業所）となっており、これら4ヶ国の中では、カンボジアの実業所数は、増加傾向にあるものの、依然としてその人口に対して比較的少ないといえる。

プノンペン都（州と同格）は、カンボジア全24州（当時）の中で実業所数が最も多く、97,200事業所と、全国の18.9%を占めている。次いで、コンポンチャム州が54,231事業所（同10.6%）、カンダール州が38,679事業所（同7.5%）、シェムリアップ州が37,622事業所（同7.3%）、タケオ州が32,780事業所（同6.4%）となっている。これら5つの州は、平野部又はトンレサップ湖沿岸に位置しており、5州で全国の実業所数の50%以上を占めている。

2. 2011年から2014年の間に増加した全国の事業所数は50,396事業所

カンボジア全国の実業所は、2011年から2014年の間に50,396事業所(+10.9%)増加した。プノンペン都は、全国で増加した数が最も多く、12,470事業所(+14.7%)だった。次いで、シェムリアップ州が9,699事業所(+34.7%)、コンポンチュナン州が4,302事業所(+23.2%)、プルサット州が3,480事業所(+32.3%)、タケオ州が2,967事業所(+10.0%)の増加となっている。この結果は、これらの5つの州が同期間においてビジネス活動や社会経済開発が比較的活発であったことを意味している。

3. カンボジア全国の従業者数は1,874,670人

カンボジアにおける全国の従業者数は1,874,670人で、そのうち男性が780,299人と全体の41.6%、女性が1,094,371人で全体の58.4%と女性従業者数は男性従業者数を上回っている。

カンボジア全国の従業者数は2011年から2014年の間に264,060人(+16.4%)増加した。2011年から2014年にかけての人口増加率は4.6%であったことから、従業者数の増加率は、それを大きく上回っている。その理由として、第1次産業から、第2次産業または第3次産業へ従業者が移行したことが挙げられる。これは国の経済発展の過程において共通して見られる特徴の一つである。

4. 事業所の規模は徐々に拡大する傾向

各事業所における従業者数は3.6人で、2011年から0.2人増加した。1事業者あたりの従業者数は、経済の規模とともに徐々に拡大する傾向にあることを意味している。以下はそうした状況を表す証拠である：1. 従業者1人の事業所は2011年から26,479(-13.5%)減少した。2. 一方で従業者が2人の事業所は45,466(+27.7%)増加した。3. 3人の事業所は20,662(+46.8%)増加した。4. 従業者数が100人を超える事業所は109(+13.9%)増加した。

5. 製造業はわずかに増加

カンボジアの主産業の1つである「製造業」の実業所数は71,922事業所で、2011年から596事業所(+0.8%)とわずかに増加した。一方で「教育事業」は11,999事業所あり、2011年から2,131事業所(+21.6%)と目立って伸びている。これにより、近年は教育に関心を持つ家庭が増えている傾向が分かる。

以上